



「尚徳」1月号 第568号 令和2年1月31日

鳥取大学附属小学校 学校便り

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明 附属学校部長 (元校長)



新しい年を迎えて

副校長 志和 俊哉

2020年・令和2年を迎え、早1か月が経とうとしています。年の初めから暖かい日が続いています。先日、1年生の生活科の学習「きせつともだち ふゆとあそぼう」の授業を参観しました。例年だと「雪が積もっているよ。」「水たまりが氷になっていた。」など子供たちが冬らしい発見をたくさんして学習が展開していきます。しかし、今年は冬らしさを感じることができなく、担任も苦勞しているようでした。また、1月23日・24日に予定していた5年生の「雪の学校」も雪不足のため、2月17日・18日に延期しました。降雪があり雪の学校を実施できることを祈るばかりです。

さて、今年の干支は「子」です。子年は十二支の始まりで節目の年だそうです。「子」にあてられる動物は「ネズミ」です。因幡の白ウサギなどで鳥取にも縁の深い大国主命が、絶体絶命のピンチに遭遇したときに、どこからか現れたネズミに助けられ難を逃れたという神話が古事記に残されています。そのことから古来よりネズミは大国主命の使者として、人々に福をもたらす存在であると思われてきています。また、ディズニーのミッキーマウスは、世界の人々に夢と感動を与えてくれています。

今年は東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。昨年のラグビーワールドカップ以上に日本全国が盛り上がり、夢が目標に変わる人がたくさんいることと思います。

4月からの新学習指導要領完全実施、教員の働き方改革推進など、小学校教育を取り巻く環境も大きな節目を迎えますが、子供たちの心も体も健康で、本校の教育テーマ『わくわくする学校』の体現に向け、さらに学校生活の充実に努めてまいります。

本年のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2月の行事予定

3日(月) 研究日	17日(月) 5年雪の学校予備日 研究日
5日(水) 委員会	18日(火) 5年雪の学校予備日 おはようおはなしの会(下) 集金引き落とし日
6日(木) 4年プログラミング教育授業	19日(水) 後期個別懇談 1~5年5校時下校
8日(土) 実りの学校 弁当の日	20日(木) 5年プログラミング教育授業 後期個別懇談 1~5年5校時下校
10日(月) 振替休業日	21日(金) 1年プログラミング教育授業 後期個別懇談 1~5年5校時下校
11日(火) 建国記念の日	23日(日) 天皇誕生日
12日(水) わくわくタイム 職員会議 執行部会	24日(月) 振替休日
13日(木) 3-1、6-1プログラミング教育授業 研究日 学校評議員会 常任委員会	25日(火) 2年プログラミング教育授業 研究日
14日(金) 3-2、6-2プログラミング教育授業 おはようおはなしの会(上)	26日(水) 代表委員会



学校の様子・子供の様子

*** 「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査から」 ***

年度当初、4月18日に6年生を対象とした「全国学習・学習状況調査」が実施されました。本校の6年生も国語・算数のテストと学習意欲や生活習慣などに関する意識調査（質問紙）に取り組みました。

今年度から問題の出題形式が変わり、A問題（基礎的な問題）とB問題（応用的な問題）の区別がなくなり、基礎と応用の両方の内容を含んだ14問ずつのテストでした。結果、考察は下記のとおりです。

【国語・算数テストより】

	本校6年生	鳥取県	全国
国語	83	63	64
算数	84	66	66.7

○国語では、「読むこと」に対する正答率が高く、文章からの読み取りがしっかりできる力をつけている。しかし、「書くこと」に対する正答率はさほど高くなく、自分の考え等を文字であらわす力を高める必要がある。

○算数は領域ごとのバランスが良い正答率になっている。

※国語・算数ともに全国・鳥取県の平均よりも高い数値となりました。本校では、授業に落ち着いて取り組んでいるなど学習環境が整っていることや家庭でのご支援があり、子供たちに学力をつけることができていたことが分かりました。

【質問紙より（抽出）】

○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」の質問では、ほぼ全員が肯定的な回答をしています。交通機関を利用する子供も多いですが、前日の就寝時刻に関わらず、きちんと起きて登校できています。ご家庭でも生活リズムについてご配慮いただいていることが分かりました。

○「人が困っているときは、進んで助けていますか。」の質問でも、ほぼ全員が肯定的な回答をしています。友達を大切にして、お互いに力を合わせて学校生活を送っていることがうかがえます。

△「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。」の質問では、消極的な回答の数値がやや高かったです。結果を求められることで、失敗を恐れていると考えられます。取り組んだ過程が大切であること、その取組に対して周囲のフォローをすることを考えていく必要があります。

※生活リズムや環境は、学校だけの取組では身に付かないことですので、お子様の様子に応じてご協力いただきますようお願いいたします。

*** 1年 ***

「生活科授業研究会」

1月14日に生活科の校内授業研究会がありました。「ふゆとあそぼう」の学習で、“冬”を感じられるものを見つけて校内を探検し、見付けたことを友達に伝え合いました。雪がない中、秋と比べて変わったところを絵で表したり、自分の言葉で伝えたりしました。

10月下旬に研究発表大会を終えましたが、研究は終わりではなく、発表大会での意見を聞き、授業改善を行ったり、共同研究者の指導を仰いだりして、引き続き行っています。



*** 6年 ***

「キャリアに拓く（工学部）」

1月22日に、6年生が「キャリアに拓く」の学習で、工学部に行きました。工学部の榎田先生方にお世話になり、主にプログラミングの体験をしました。キャタピラ車の回路を作成して、実際にキャタピラ車を動かしたり、スマートフォンアプリのプログラムを作成したりしました。パソコン画面に表示されるプログラムでうまく動かかさを考えながら作成したり、試したり、修正したりして、興味深く活動することができました。

